

ザ・シンフォニーホール RENEWAL

所在地=大阪市北区大淀南 2-3-3 / 設計監理=大成建設株式会社

設置主体=朝日放送株式会社 / 竣工年月= 1982 年 10 月 / 改修年月= 2000 年 8 月



ホール
 設備容量=3φ4W 300 kVA (舞台用)
 3φ4W 120 kVA (客席用)
 収容人員= 1704 名
 舞台間口= 24.0 m
 奥行= 12.0 m
 高さ= 20.0 m

ザ・シンフォニーホール外観

クラシック音楽のための本格的なコンサートホールとして、国内はもとより海外からも高い評価を得ている「ザ・シンフォニーホール」は、朝日放送の創立30周年事業として1982年に誕生しました。厳かな中にも壮麗な雰囲気を出すパイプオルガンが設備された舞台。観客席が四方から舞台を取り囲むことで、指揮者や演奏家の表情やこまかな動きまでも身近に目にする事ができるアリーナ・シアター形式。「ザ・シンフォニーホール」には、当時の日本では画期的ともいえるホール設計がさまざまな形で取り入れられています。今日、全国各地で見られるようになったパイプオルガンを設備した舞台やアリーナ・シアター形式のコンサートホールの先駆けともなった「ザ・シンフォニーホール」の最大の特徴は、希有ともいえる残響2秒という高い水準の音響設計です。朝比奈隆指揮による大阪フィルハーモニー、カラヤンやクラウディオ・アバド指揮によるベルリンフィルハーモニー、ラファエル・クーベリック指揮のチェコフィルハーモニーなど、錚々たる演奏家に感動を与えた音響環境のすばらしさは、最高のコンサートホールの実現をめざした当時の関係者の努力と情熱の賜物といえるものです。また、特筆されるのが、このホールをベースにしながらか展開されている、地元文化への貢献や若手演奏家の育成をはかるメセナ活動の数々です。そのひとつに、朝日放送創立35周年記念事業として1985年に設けられた「ザ・シンフォニーホール国際音楽賞」があります。これは年間を通して、「ザ・シンフォニーホール」で最も優れた演奏をおこなったアーティストに大賞を、また、顕著な音楽活動をおこなったアーティストにクリスタル賞を贈るもので、1996年から「ABC国際音楽賞」に名称を変え、今日まで国内外の数多くの音楽家がその栄誉に輝いています。さらに若手演奏家の育成については、1991年からエービーシー音楽振興財団による「ABC新人コンサート・オーディション」がこのホールを中心におこなわれ、世界的なアーティストとしての活躍が期待される若手演奏家を輩出するなど、大きな成果をあげています。こうした日本のみならず、世界のクラシック音楽界に貴重な足跡を残してきた「ザ・シンフォニーホール」の改修にあたり、さらに音楽界をリードし、新たな歴史を築いていくホールにふさわしい舞台照明設備として、MARUMOはリモートコントロールスポットライトによるシューティングシステムをはじめ、最新の技術を提供していきます。

調光設備

調光器

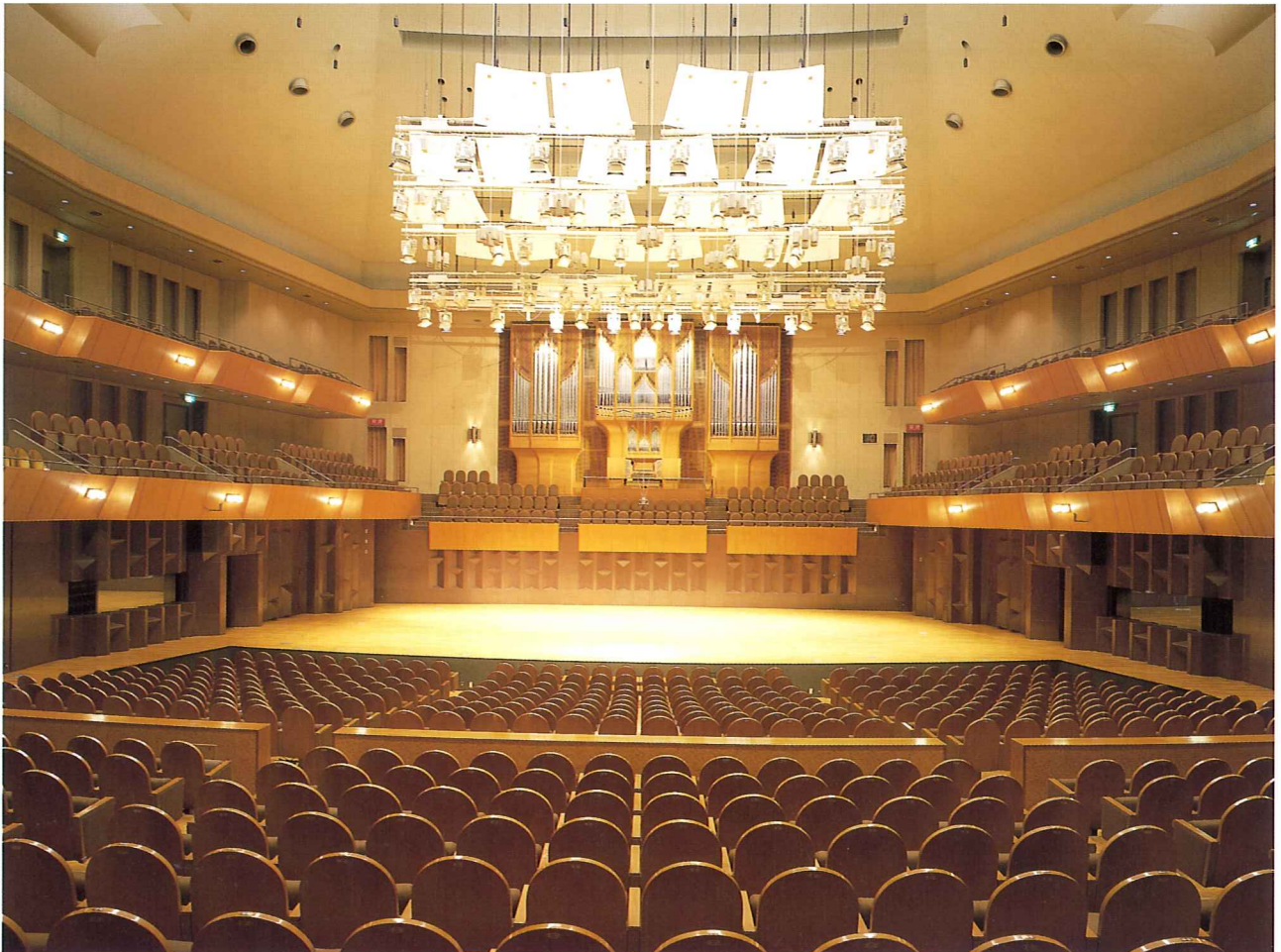
舞台用 3 kW× 146 台
 6 kW× 31 台
 客席用 6 kW× 30 台

照明操作卓 (PRETYNA+SARIUS VEGA)
 メモリーシーン…………… 500 シーン
 マスターフェーダ…………… 1 本
 クロスフェーダ…………… 1 組
 グループフェーダ…………… 6 本

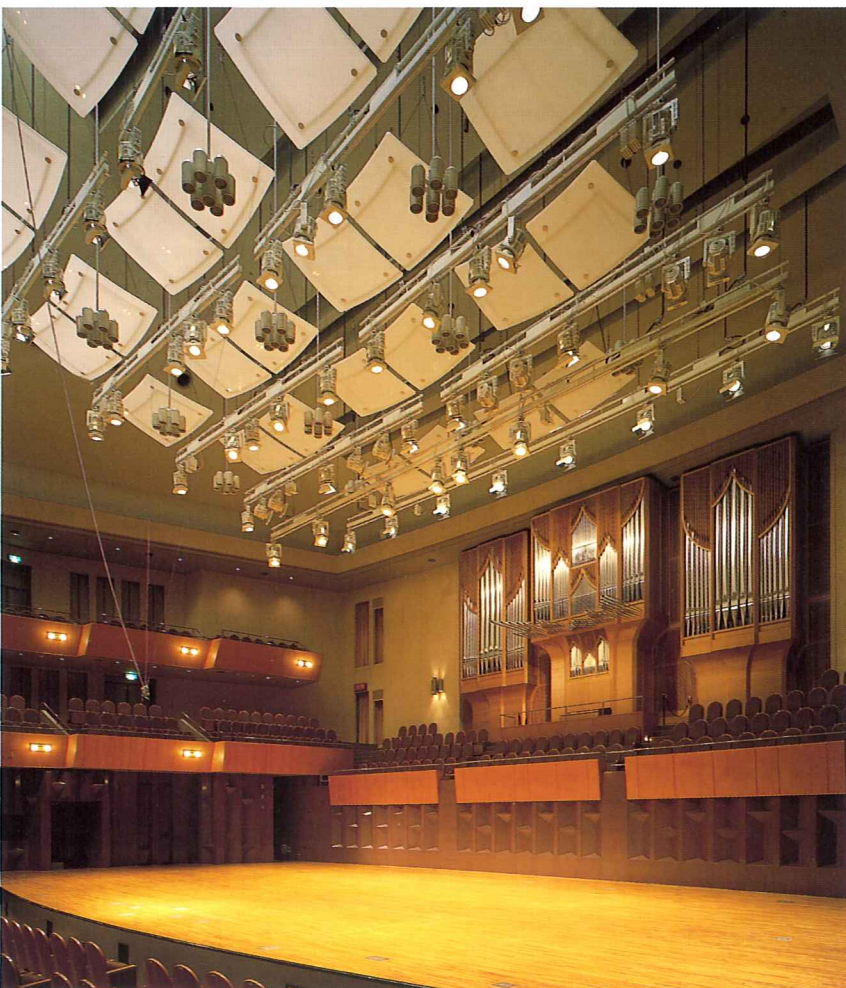
スタックフェーダ…………… 10 本
 プリセットフェーダ…………… 100 本× 3 段
 チェイス操作パネル…………… 1 式
 シューティング操作パネル…………… 1 式
 電子クロスバー装置 (15 型 LCD)…………… 1 台
 3.5 型 FDD (15 型 LCD)…………… 1 式
 客席調光スイッチ…………… 6 系統
 固定フェーダ…………… 6 本
 (ステージ D L / パイプオルガン)

負荷モニター盤

LED グラフィック配置…………… 1 式
 舞台袖操作パネル
 操作主幹スイッチ…………… 1 式
 固定フェーダ…………… 2 本
 DMX パッチ盤
 ワイヤレス装置



舞台と観客席

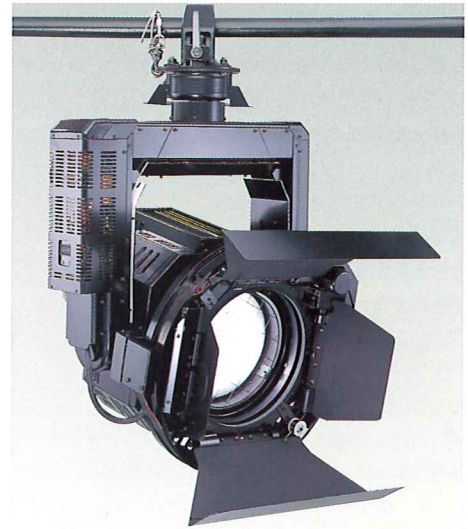


舞台上部

「ザ・シンフォニーホール」がクラシック音楽のための本格的なコンサートホールであることを最も強く印象づけたのが、日本で初めて舞台の正面に設備されたパイプオルガンです。荘厳な響きで聴衆を魅了するこのパイプオルガンは、スイスのクーン社製で、54ストップ、3732本のパイプを備えています。ホールではオルガンのソロ・コンサートはもとより、サンサーンスのシンフォニー3番やマーラーのシンフォニー2番『復活』などのオルガンを伴うオーケストラ作品や宗教音楽などの演奏も数多くおこなわれています。



観客席上部

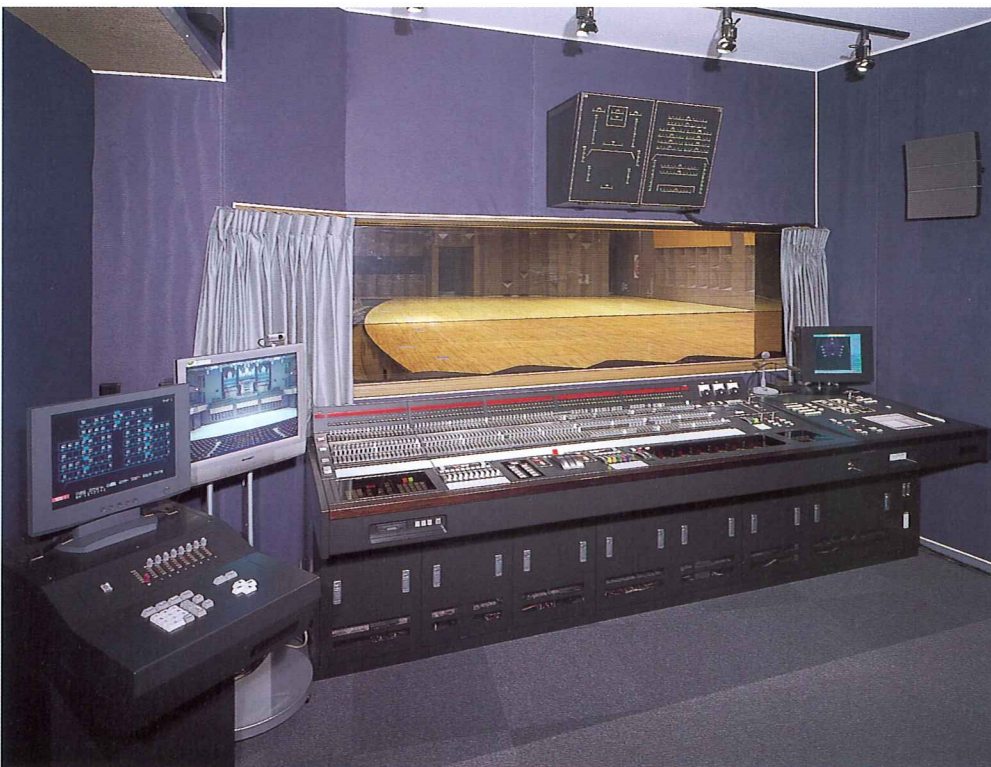


RHE B型ムービングスポットライト

ワイヤレス装置



舞台照明設備としては、ワイヤレス装置でも簡単に制御操作ができるリモートコントロールスポットライトが新たにサスペンションライトに設備されました。パン・チルト・フォーカスに加え、スクロカラーを装着しカラーチェンジがおこなえるRHE A型と、バンドア1枚ごとの開閉操作ができるRHE B型の二機種のリモートコントロールスポットライトの導入により、仕込作業の効率化と省力化がはかられています。



調光室

舞台照明の調光操作卓には3段のプリセットフェーダとメモリ機能を備えたPRETYNA型調光操作卓が導入されました。プリセットフェーダを使っのマニュアル操作とキー操作によるメモリ操作がおこなえるため、プログラムの内容に合わせてフレキシブルに明かりづくりをおこなうことができます。また、リモートコントロールスポットライトのシューティング制御卓として調光室にはSARIUS VEGAが導入されています。

負荷設備

①第1サスペンションライト フライダクト

C型30A 16個付 8回路
C型30A 1個付 直1回路
平行15A 2個付 並列回路
制御コネクタ 2個付 2系統
L = 5.55m……………2列

②第2サスペンションライト フライダクト

C型30A 16個付 8回路
C型30A 1個付 直1回路
平行15A 2個付 並列回路
制御コネクタ 2個付 2系統
L = 6.35m……………2列

③第3サスペンションライト フライダクト

C型30A 16個付 8回路
C型30A 1個付 直1回路
平行15A 2個付 並列回路
制御コネクタ 2個付 2系統
L = 6.85m……………2列

④第4サスペンションライト フライダクト

C型30A 16個付 8回路
C型30A 1個付 直1回路

平行15A 2個付 並列回路
制御コネクタ 2個付 2系統
L = 7.03m……………2列

⑤第5サスペンションライト フライダクト

C型30A 24個付 12回路
C型30A 2個付 直2回路
平行15A 4個付 並列回路
制御コネクタ 2個付 2系統
L = 15.0m……………1列

⑥第6サスペンションライト フライダクト

C型30A 24個付 12回路
C型30A 2個付 直2回路
平行15A 4個付 並列回路
制御コネクタ 2個付 2系統
L = 15.0m……………1列

⑦フロアコンセント

C型30A 4口用……………2個
C型60A 2口用……………11個
C型60A 4口用……………3個

⑧グリッドコンセント

C型30A 2口用……………6個
C型30A 3口用……………2個

⑨第1客席サスペンションライト フライダクト

C型30A 24個付 8回路
C型30A 16個付 4回路
L = 9.0m……………1列

⑩第2客席サスペンションライト フライダクト

C型30A 24個付 8回路
C型30A 16個付 4回路
L = 9.0m……………1列

⑪フロントサイドライト (上手・下手) コンセント

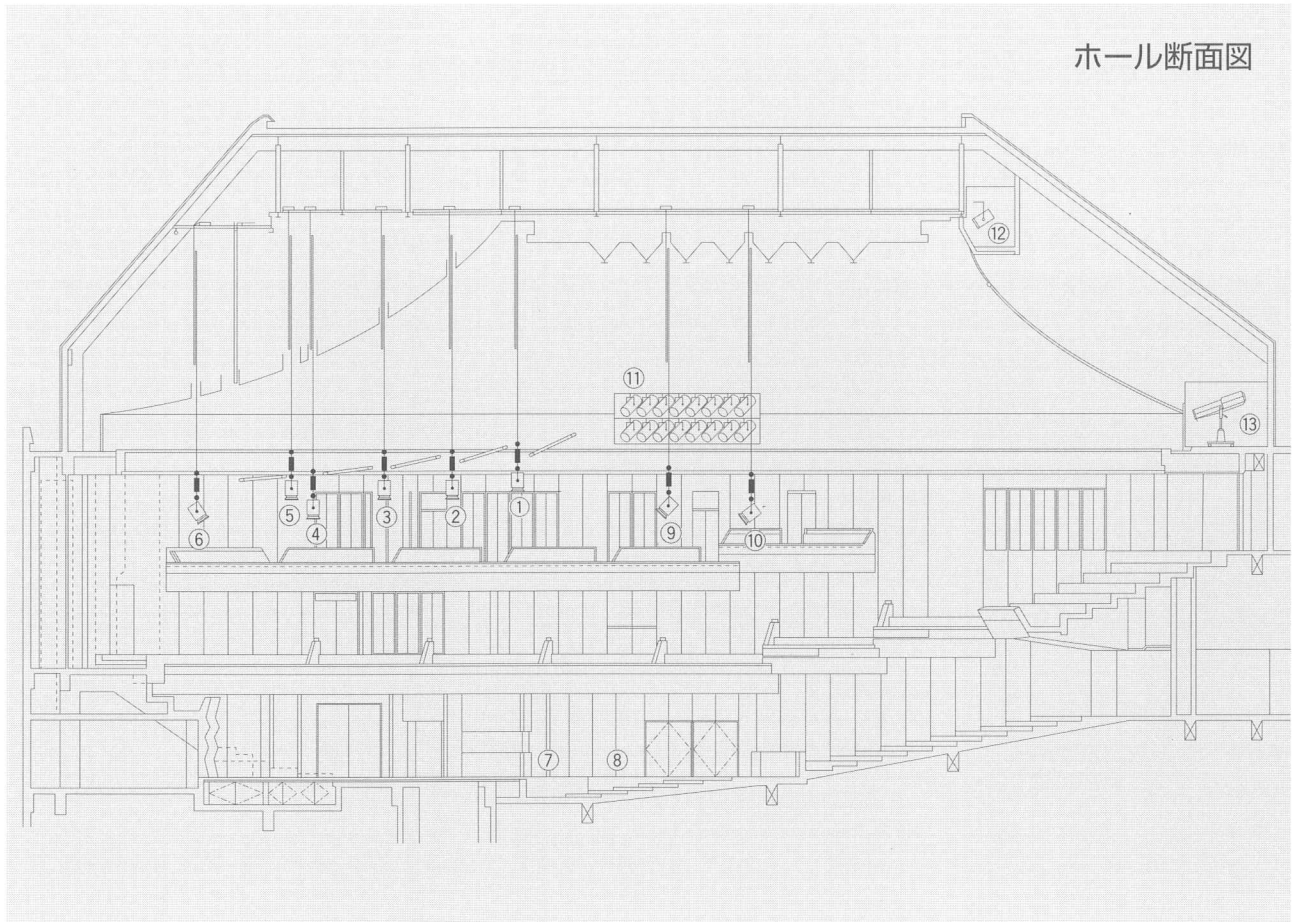
C型30A 2個付 1回路……………16個
C型30A 1個付 直1回路……………2個

⑫シーリングライト コンセント

C型30A 2個付 1回路……………10個
C型30A 2個付 1回路……………8個

⑬センタースポットライト

2000Wクセノンピンスポット……………4台
*リモートコントロールスポットライト
RHEA型250S-1500W……………38台
(PTFC機能付)
RHEB型120S1-1500W……………20台
(PTFB機能付)



ホール断面図